

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	熊本駅前看護リハビリテーション学院
設置者名	学校法人 青照学舎

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="http://www.ekigaku.ac.jp/public/">http://www.ekigaku.ac.jp/public/</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="http://www.ekigaku.ac.jp/public/">http://www.ekigaku.ac.jp/public/</a>
財産目録	<a href="http://www.ekigaku.ac.jp/public/">http://www.ekigaku.ac.jp/public/</a>
事業報告書	<a href="http://www.ekigaku.ac.jp/public/">http://www.ekigaku.ac.jp/public/</a>
監事による監査報告（書）	<a href="http://www.ekigaku.ac.jp/public/">http://www.ekigaku.ac.jp/public/</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

（理学療法学科）

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療分野		医療専門課程	理学療法学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	4,140 単位時間	2,250 単位時間	810 単位時間	1,080 単位時間		
			4,140 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
320人		151人	0人	10人	30人	40人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業内容については、教育課程編成委員会での委員の意見を踏まえ、各教員が十分に検討し、また各学科内で他教科との関連性等検討を加え、その内容をシラバスに解りやすく明記する。授業目標（GIO）や行動目標（SBO）を明確に定め、授業計画に反映させている。成績評価については、その手段を明記し、学生にとってより明確となるように工夫している。年度シラバス集は3月に完成し、新年度4月のオリエンテーションにおいて全学生に配布している。
成績評価の基準・方法
（概要） 成績評価の方法についてはシラバスに明記しており、定期試験、実技試験、随時試験、小テストやレポートなどの課題遂行状況により算出している。 各科目100点を満点として、80点以上を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」、59点以下を「不可」とし、60点以上が単位取得となる。 不可は再試験を実施し、60点以上の場合一律60点「可」とし、単位取得となるが、59点以下の場合単位未取得となり、再度の受講もしくは単位認定試験の対象となる。また、全受験科目の総得点を受験科目数で除算し、平均値を算出することで、学生の学科内評価を行っている。

卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>学則第1条に規定している「医療関係技術者として必要な知識及び技術を習得させると共に、多様化する社会に対応できる、深い教養、豊かな人間性、高い倫理観を備え、社会における医療、保健、福祉の分野に貢献できる人材を育成する。」という目的の基、卒業認定方針（ディプロマ・ポリシー）に定めるとおり、①愛と和の心を持ち、自発的に考え行動ができる人 ②対象者と対象者を取り巻く人達が、その人らしく生きるために科学的根拠に基づいた支援ができる人 ③保健・医療・福祉チームの一員として、自己の役割と機能を認識し、メンバーシップ、リーダーシップを発揮できる人 ④生涯に渡って自己研鑽できる人を養成するため、学則に定める所定の修業年限以上在籍し、全教科目の単位を修得することを卒業の要件としている。詳細については、学則の他、本校履修規程に規定しており、学生の卒業認定についても、これらの規定に従い適切に実施している。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>担任により学生の個別面談を実施し、学生の希望や担任が必要と判断した場合にはスクールカウンセラーによる面接を提案している。特に1年次には担任によるノートチェックの実施や、実習前には他学科合同での宿泊研修を実施している。学生主体の勉強会実施の提案や支援を実施している。また、学年間での交流を深めるための取り組みも実施している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
48人 (100%)	0人 (0%)	45人 (93.8%)	3人 (6.2%)
(主な就職、業界等) 病院、訪問看護ステーション、介護老人保健施設			
(就職指導内容) 個別面談、校内就職ガイダンス等の実施			
(主な学修成果（資格・検定等）) 国家試験受験資格、高度専門士、大学院入学資格等			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
176人	13人	7.4%
(中途退学の主な理由) 学業不振、進路変更、経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別・三者面談の実施、スクールカウンセリング等		

## (作業療法学科)

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療分野		医療専門課程	作業療法学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	4,440 単位時間	1,800 単位時間	1,380 単位時間	1,260 単位時間	単位時間	単位時間
			4,440 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		87人	0人	6人	27人	33人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>授業内容については、教育課程編成委員会での委員の意見を踏まえ、各教員が十分に検討し、また各学科内で他教科との関連性等検討を加え、その内容をシラバスに解りやすく明記する。授業目標 (GIO) や行動目標 (SBO) を明確に定め、授業計画に反映させている。成績評価については、その手段を明記し、学生にとってより明確となるように工夫している。年度シラバス集は3月に完成し、新年度4月のオリエンテーションにおいて全学生に配布している。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要)</p> <p>成績評価の方法についてはシラバスに明記しており、定期試験、実技試験、随時試験、小テストやレポートなどの課題遂行状況により算出している。</p> <p>各科目100点を満点として、80点以上を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」、59点以下を「不可」とし、60点以上が単位取得となる。</p> <p>不可は再試験を実施し、60点以上の場合一律60点「可」とし、単位取得となるが、59点以下の場合単位未取得となり、再度の受講もしくは単位認定試験の対象となる。また、全受験科目の総得点を受験科目数で除算し、平均値を算出することで、学生の学科内評価を行っている。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>学則第1条に規定している「医療関係技術者として必要な知識及び技術を習得させると共に、多様化する社会に対応できる、深い教養、豊かな人間性、高い倫理観を備え、社会における医療、保健、福祉の分野に貢献できる人材を育成する。」という目的の基、卒業認定方針 (ディプロマ・ポリシー) に定めるとおり、①愛と和の心を持ち、自発的に考え行動ができる人 ②対象者と対象者を取り巻く人達が、その人らしく生きるために科学的根拠に基づいた支援ができる人 ③保健・医療・福祉チームの一員として、自己の役割と機能を認識し、メンバーシップ、リーダーシップを発揮できる人 ④生涯に渡って自己研鑽できる人を養成するため、学則に定める所定の修業年限以上在籍し、全教科目の単位を修得することを卒業の要件としている。詳細については、学則の他、本校履修規程に規定しており、学生の卒業認定についても、これらの規定に従い適切に実施している。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>担任により学生の個別面談を実施し、学生の希望や担任が必要と判断した場合にはスクールカウンセラーによる面接を提案している。特に1年次には担任によるノート</p>

チェックの実施や、実習前には他学科合同での宿泊研修を実施している。学生主体の勉強会実施の提案や支援を実施している。また、学年間での交流を深めるための取り組みも実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
19人 (100%)	0人 (0%)	17人 (89.5%)	2人 (10.5%)
(主な就職、業界等) 病院、介護老人保健施設			
(就職指導内容) 個別面談、校内就職ガイダンス等の実施			
(主な学修成果（資格・検定等）) 国家試験受験資格、高度専門士、大学院入学資格等			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
99人	11人	11.1%
(中途退学の主な理由) 進路変更、病気療養、経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別・三者面談の実施、スクールカウンセリング等		

(看護学科)

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療分野		医療専門課程	看護学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,015 単位時間	1,980 単位時間		1,035 単位時間		
			3,015 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240人		217人	0人	16人	55人	71人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>授業内容については、教育課程編成委員会での委員の意見を踏まえ、各教員が十分に検討し、また各学科内で他教科との関連性等検討を加え、その内容をシラバスに解りやすく明記する。授業目標（GIO）や行動目標（SBO）を明確に定め、授業計画に反映させている。成績評価については、その手段を明記し、学生にとってより明確となるように工夫している。年度シラバス集は3月に完成し、新年度4月のオリエンテーションにおいて全学生に配布している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>成績評価の方法についてはシラバスに明記しており、定期試験、実技試験、随時試験、小テストやレポートなどの課題遂行状況により算出している。</p> <p>各科目100点を満点として、80点以上を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」、59点以下を「不可」とし、60点以上が単位取得となる。</p> <p>不可は再試験を実施し、60点以上の場合一律60点「可」とし、単位取得となるが、59点以下の場合単位未取得となり、再度の受講もしくは特別試験の対象となる。また、全受験科目の総得点を受験科目数で除算し、平均値を算出することで、学生の学科内評価を行っている。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>学則第1条に規定している「医療関係技術者として必要な知識及び技術を習得させると共に、多様化する社会に対応できる、深い教養、豊かな人間性、高い倫理観を備え、社会における医療、保健、福祉の分野に貢献できる人材を育成する。」という目的の基、卒業認定方針（ディプロマ・ポリシー）に定めるとおり、①愛と和の心を持ち、自発的に考え行動ができる人 ②対象者と対象者を取り巻く人達が、その人らしく生きるために科学的根拠に基づいた支援ができる人 ③保健・医療・福祉チームの一員として、自己の役割と機能を認識し、メンバーシップ、リーダーシップを発揮できる人 ④生涯に渡って自己研鑽できる人を養成するため、学則に定める所定の修業年限以上在籍し、全教科目の単位を修得することを卒業の要件としている。詳細については、学則の他、本校履修規程に規定しており、学生の卒業認定についても、これらの規定に従い適切に実施している。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>担任により学生の個別面談を実施し、学生の希望や担任が必要と判断した場合にはスクールカウンセラーによる面接を提案している。特に1年次には担任によるノートチェックの実施や、実習前には他学科合同での宿泊研修を実施している。学生主体の勉強会実施の提案や支援を実施している。また、学年間での交流を深めるための取り組みも実施している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
71人 (100%)	1人 ( 1.4%)	68人 ( 95.8%)	2人 ( 2.8%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>病院、介護老人保健施設</p>			

(就職指導内容) 個別面談、校内就職ガイダンス等の実施
(主な学修成果(資格・検定等)) 国家試験受験資格、保健師・助産師学校養成所受験資格、専門士
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
220人	7人	3.2%
(中途退学の主な理由) 学業不振、進路変更、経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別・三者面談の実施、スクールカウンセリング等		

## ②学校単位の情報

### a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
理学療法学科	300,000円	600,000円	470,000円	その他欄内訳 入学検定料 20,000円 実験実習費 250,000円 施設充実費 200,000円
作業療法学科	300,000円	600,000円	470,000円	その他欄内訳 入学検定料 20,000円 実験実習費 250,000円 施設充実費 200,000円
看護学科	200,000円	400,000円	340,000円	その他欄内訳 入学検定料 20,000円 実験実習費 170,000円 施設充実費 150,000円
修学支援(任意記載事項)				
学校法人独自の貸与奨学金制度 対象者：本学に在籍し、学費支弁が困難な者。 貸与額等：20万円～50万円(各学年5名程度)				

### b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://www.ekigaku.ac.jp/public/">http://www.ekigaku.ac.jp/public/</a>
---

学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
<p>本校においては、学校関係者評価委員会規則第3条の規定に基づき、(1) 業界団体・専修学校団体・職能団体・専門分野別の関係団体等の関係者、(2) 所轄庁・自治体の関係部局職員、(3) 中学校・高等学校等の教職員、(4) 生徒、(5) 卒業生、(6) 保護者、(7) 地域住民のうち、(1)～(2)から少なくとも1名、(3)～(7)から少なくとも2名の委員を選出することになっており、現在、職能団体役員2名、関係団体役職員3名、高等学校教職員1名、保護者1名、卒業生1名、事務局8名（計16名）で構成される学校関係者評価委員会を組織し、学校の教育水準の向上を図り、かつ社会的使命を達成するため、それぞれの知見を活かした学校運営・教育活動・生徒指導・教育環境等の項目についての評価を実施する。</p> <p>学校関係者評価委員会からの意見は、理事会・学校運営委員会・教育課程編成委員会などで報告するとともに、学校の諸問題を解決するために教職員に周知し、学校運営の改善・円滑化、教育の質の確保・向上に取り組んでいくこととしている。</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
公益社団法人熊本県理学療法士協会	H30. 6. 28～R2. 6. 27	職能団体
一般社団法人熊本県作業療法士会	R1. 7. 19～R3. 7. 18	職能団体
医療法人桜十字 桜十字病院 リハビリテーション部	H30. 7. 2～R2. 7. 1	企業等委員
医療法人聖十字会 聖ヶ塔病院 リハビリテーション部	H29. 8. 8～R1. 8. 7	企業等委員
独立行政法人国立病院機構 熊本再春医療センター	H30. 7. 20～R2. 7. 19	企業等委員
熊本県立熊本農業高等学校	H31. 4. 23～R3. 4. 22	高等学校
熊本駅前看護リハビリテーション学院 院後援会	R1. 5. 22～R3. 5. 21	保護者
熊本駅前看護リハビリテーション学院 院同窓会	H29. 8. 16～R1. 8. 15	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） <a href="http://www.ekigaku.ac.jp/public/">http://www.ekigaku.ac.jp/public/</a>		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） <a href="http://www.ekigaku.ac.jp/public/">http://www.ekigaku.ac.jp/public/</a>
--